



**ICHIKEN**

# 2018年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2017年12月14日

株式会社 **イチケン**



	page
<b>I. 会社概要</b>	<b>3</b>
<b>II. 当社の特徴</b>	<b>9</b>
<b>III. 2018年3月期 第2四半期 業績概要</b>	<b>19</b>
<b>IV. 中期経営計画</b>	<b>31</b>

# I

# 会社概要

## より豊かで快適な『暮らし空間』を創造する事で 広く社会へ貢献する企業

商号	株式会社イチケン
本店	〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目1番1号(浜松町ビルディング) 電話：(03)5931-5610
創業	昭和5年6月
資本金	43億2167万2065円
従業員数	623名(2017年9月時点)
株式上場	東京証券取引所 第一部
決算期	3月(年1回)

### 総合建設業

#### 営業種目

- 貸ビル賃貸業
- 住宅・商業施設ディベロッパー事業
- 都市環境整備事業
- 複合商業施設企画・設計・施工・監理
- 専門店舗企画・設計・施工・監理





## 赤とんぼ広場ショッピングセンター

〒679-4129  
兵庫県たつの市龍野町堂本260-1  
TEL (079) 163-1465

## 広島営業所

〒730-0022  
広島市中区銀山町4番17号  
広島大同生命ビル  
TEL (082) 545-1010

## 福岡支店

〒810-0041  
福岡市中央区大名2丁目4番35号  
富士火災福岡ビル  
TEL (092) 515-1810  
※2017年11月6日付移転

## 沖縄営業所

〒900-0005  
沖縄県那覇市字天久2-1-9  
TEL (098) 862-6661

## 関西支店

〒541-0056  
大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号  
大阪御堂筋ビル  
TEL (06) 6253-6200

## 名古屋営業所

〒460-0008  
名古屋市中区栄2丁目9番3号  
伏見第一ビル  
TEL (052) 202-1900

## 札幌支店

〒060-0051  
札幌市中央区南1条東4丁目7番地  
第2渡辺ビル  
TEL (011) 218-5511

## 仙台営業所

〒980-0014  
仙台市青葉区本町2丁目1番29号  
仙台北町ホンマビルディング  
TEL (022) 706-1430  
※2017年9月25日付移転

## ワオシティ三郷

〒341-0024  
埼玉県三郷市三郷1丁目3番地1号  
TEL (048) 953-8055



## 本社・東京支店

〒105-0023  
東京都港区芝浦1丁目1番1号  
浜松町ビルディング  
TEL (03) 5931-5610



1930	大阪に第一相互住宅株式会社設立
1956	社名を第一建設工業株式会社に変更
1963	東京支店を開設 株式を東京、大阪証券取引所第二部市場に上場
1979	株式会社ダイエーと提携、出資を受け株式会社ダイエー傘下に
1982	福岡営業所を開設(現福岡支店)
1985	竜野開発株式会社と合併し竜野開発事業所を開設 (現赤とんぼ広場ショッピングセンター)
1986	沖縄営業所を開設
1988	札幌営業所を開設(現札幌支店)
1989	社名を「株式会社イチケン」に変更
1990	株式を東京、大阪証券取引所第一部市場に上場
1994	仙台、名古屋に営業所を開設
1996	本社機能を東京に移転
2004	株式会社マルハンが出資、筆頭株主に
2015	本店所在地(登記)を東京都港区に変更
2017	広島営業所を開設



本社(創業当時)



ダイエー 西神中央店



マルハン千葉みなと店

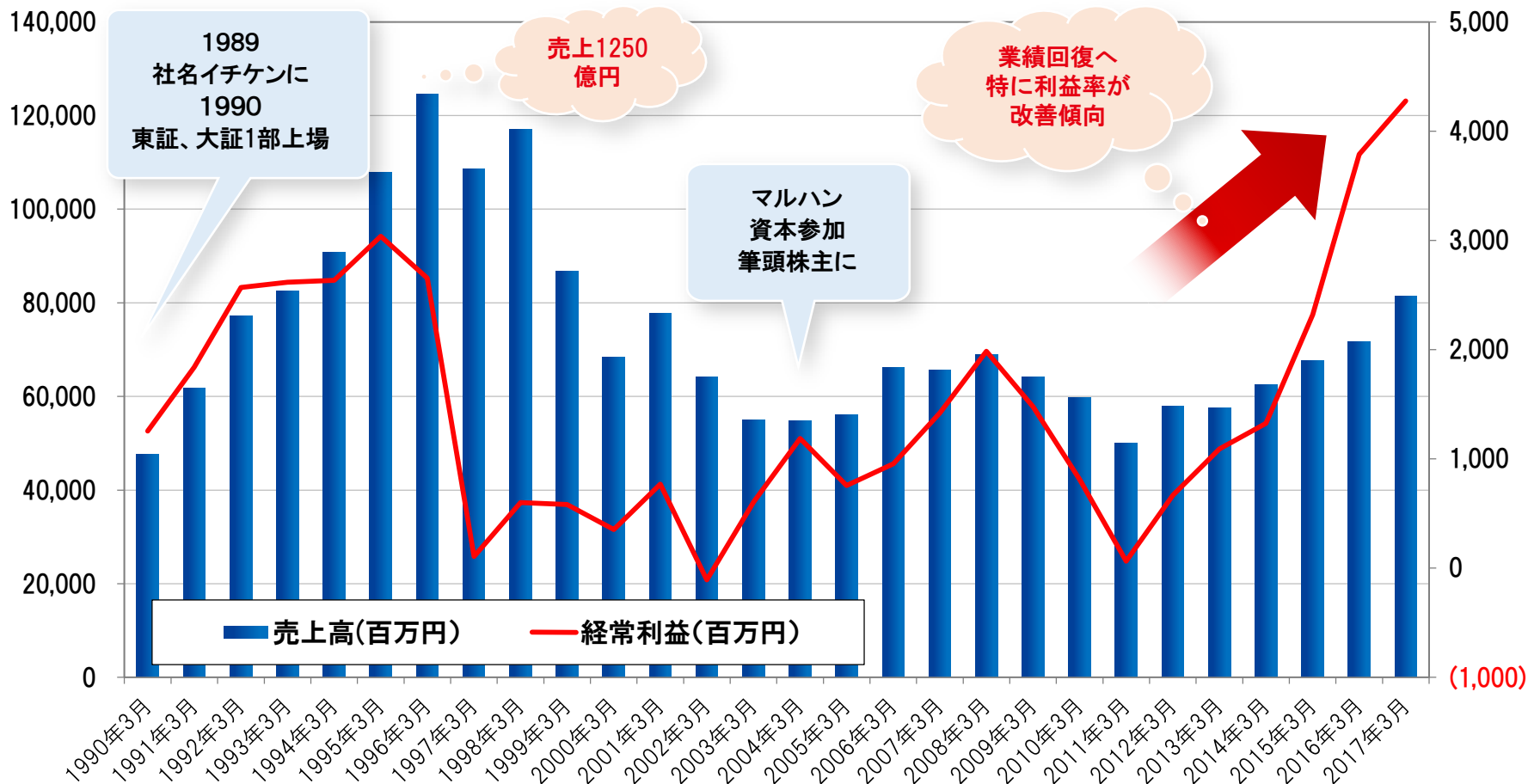
筆頭株主 ダイエー (1979~2003)

筆頭株主 マルハン

## 売上高・経常利益推移

売上高(百万円)

経常利益(百万円)



# ○ 代表的案件

1979年から約四半世紀に亘るダイエー傘下の時代に質・量ともに圧倒的な商業施設建築の経験を積んだことで、

① 他社を圧倒するノウハウを蓄積すると同時に、② 豊富な経験値を持つ人材が育ち、かつ

③ 商業建設に係る全国規模のリモデルや内・改装業者との揺るぎないネットワークを構築

近年は、ノウハウを生かし、娯楽施設やビジネスホテル、病院・介護施設、スポーツ施設などへ案件を拡大中

アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 イーストウィング



BMW GROUP Tokyo Bay



カインズ広島LECT店

# II

# 当社の特徴

1

**商業施設建築のエキスパート**

2

**内・改装まで手掛ける希少なゼネコン**

3

**付加価値のある提案力、施工力**

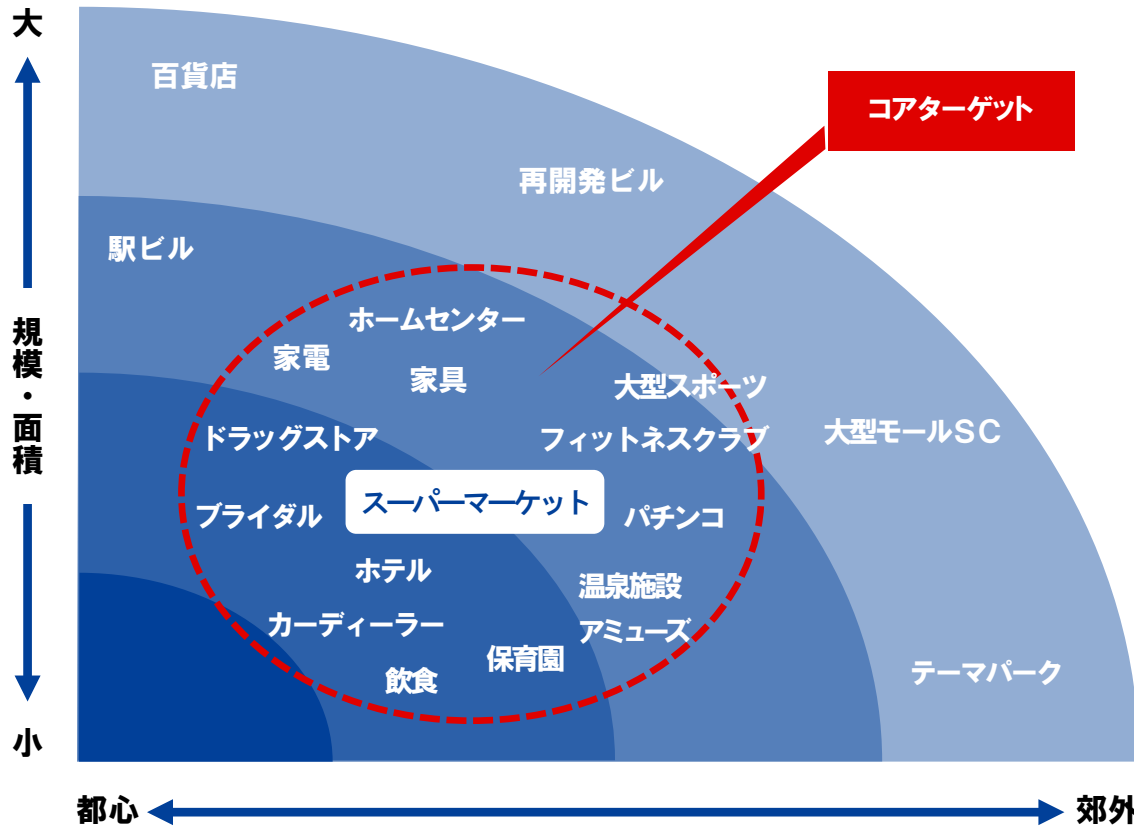
4

**小売事業者からの深い信頼と幅広い業種の顧客を保有**

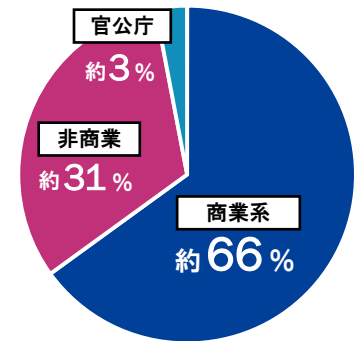
# ○ 1. 商業施設建築のエキスパート

四半世紀をかけて培われた圧倒的な経験

1. 他社を圧倒するノウハウの蓄積
2. 豊富な経験を有する人材
3. 揺るぎない協力会社のネットワーク



顧客割合 3ヶ年平均



施設内訳 3ヶ年平均

商業系	店舗	48%
	宿泊施設	10%
	娯楽施設	7%
計		66%
非商業	住宅施設	24%
	事務所	1%
	工場・倉庫	2%
	医療・福祉施設	3%
	教育・文化施設	1%
	その他	0%
計		31%
官公庁		3%

## ○ 2. 内・改装まで手掛ける希少なゼネコン①

テナント決定までのタイムラグの存在など煩雑な対応が要求されるC工事まで一貫して手掛ける能力やノウハウを持つゼネコンは希少。当社はその代表的な存在。  
(リーシングまでサポート可能 ※事例あり)

### A工事



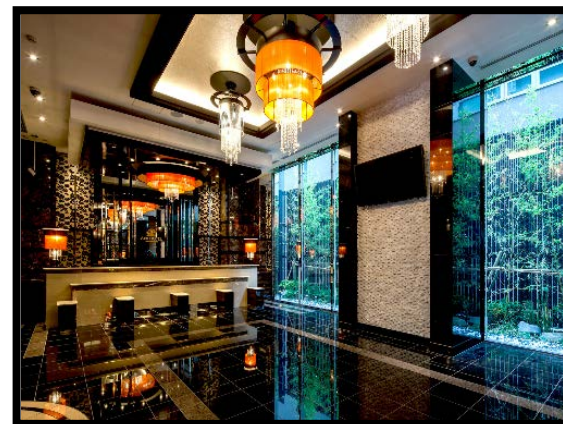
**躯体工事**  
(柱・梁・床・壁)

### B工事



**付帯工事**  
(電機・設備工事等)

### C工事



**内装工事**  
(内装仕上・装飾・什器等)

## ○ 2. 内・改装まで手掛ける希少なゼネコン② 内装事例

ラグナヴェール金沢



イオンスタイル板橋前野町店 <全館改修工事>



# ○ 事例紹介 アイテラス落合南長崎①

地域に貢献できる用地活用の提案を求めていた事業主に、物販・飲食・サービス・子育て支援・医療など様々な日常生活を詰め込んだ商業施設を提案  
テナントの紹介などトータルなプロデュース能力を発揮したほか、環境にも優しい建物を建設  
イチケンの複合的な提案力が発揮された事例



日通リ側ファサード

**施設概要**

施設名称	ITerrace 落合南長崎
所在地	東京都豊島区南長崎4丁目
敷地面積	5,546㎡
建築面積	4,367㎡
延べ床面積	21,511㎡
リース面積	9,122㎡
駐車場 (140台)	6,753㎡
駐輪場 (250台)	433㎡
共用部	5,203㎡
オープン日	2012年3月30日

---



インモール



オープンモール / テラス

**事業主**

- 竹崎不動産株式会社
  - ・事業計画策定
  - ・施設コンセプト決定
- 株式会社21世紀
  - ・テナントリーシング
  - ・プロJ/ディマネジメント (PM)
  - ・ビルマネジメント (BM)

---





**企画・設計・施工**

- 株式会社イチケン
  - ・企画・マスタープラン
  - ・施設環境デザイン
  - ・ロゴデザイン
  - ・設計 (基本・実施・監理)
  - ・大規模小売店舗立地法
  - ・内装監理



# 事例紹介 アイテラス落合南長崎②

アイテラス落合南長崎に導入した主な環境配慮ポイント

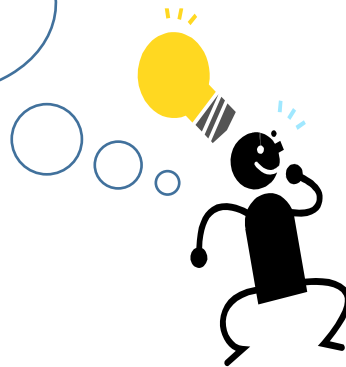


## ○ 3. 付加価値のある提案力、施工力

### 付加価値のある提案・施工力の背景

1. 長年の実績と豊富な経験に裏付けられた人材やノウハウの優位性
2. ダイエー時代から築き上げた協力会社との固いネットワーク
3. 納期厳守の強い意志を持ち小回りの利く社風
4. 土地の有効活用提案や施設建設後のメンテナンス、運営管理までをサポート

例) 平面図を見ただけで  
VE (Value Engineering)や  
CD(Cost down)に繋げる提案が  
可能な人材を抱える

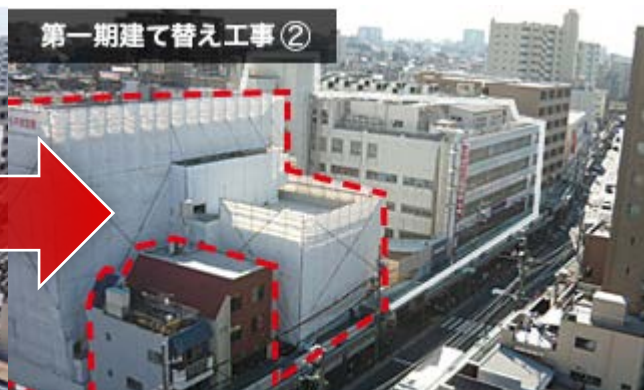
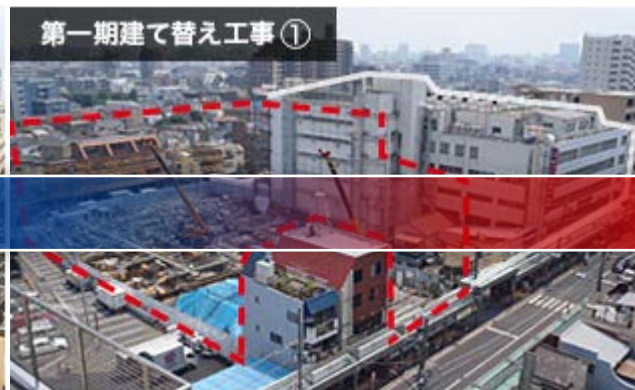


Value Engineering

品質や機能を落とさずコスト削減を図る手法

# ○ 事例紹介 営業を続けながらの新築建て替え事例

毎日買物に来ていたお客様とお客様に不便をかけたくないオーナーの意向を繋いで、  
営業を続けながら新築建て替えを行った事例



左側店舗を建て替え（施工中）

竣工した左側店舗の営業を開始し、右側店舗を建て替え

## ○ 4. 小売事業者からの深い信頼と幅広い業種の顧客を保有

1. 「商業施設建設のイチケン」として長い業歴を通じ、全国各地の小売業者と深い関係を構築
2. インバウンド需要もあり好況続くホテル業者やスポーツ施設、介護施設や病院など近年取引を拡大中



# Ⅲ

## 2018年3月期 第2四半期 決算概要

## 事業環境

1. 政府の経済政策や日銀の金融緩和などにより、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移
2. 東京オリンピックや好調な企業業績を背景に首都圏を中心に公共投資や民間設備投資は堅調
3. 建設資材の価格上昇。また建設業就業者の減少から処遇改善の他、働き方改革による次世代の担い手育成や生産性向上の取り組みが課題

## 当社の取り組み

1. コア事業である商業施設建築を中心とした受注活動に注力
2. 店舗の内・改装工事の他、訪日観光客増加によるホテル建築にも積極的な取り組み
3. その他マンション建設や待機児童対策の保育園、医療・介護施設建設などに幅広い取り組み

## 総括

- 1.【増収】 手持工事が順調に進捗し、完成工事高が増加
  - 2.【増益】 完成工事高の増加により完成工事利益が増加し、営業利益及び経常利益が増加
- 【減益】 賃貸用不動産の一部につき減損処理を行ったことから、四半期純利益が減少

(単位：百万円)

科 目	2016年9月期		2017年9月期		
	金 額	金 額	前年増減	増減率	
売上高	36,030	39,964	3,933	+ 10.9 %	
売上総利益	3,316	3,614	298	+ 9.0 %	
販売費及び一般管理費	1,163	1,158	▲5	- 0.5 %	
営業利益	2,152	2,456	303	+ 14.1 %	
経常利益	2,137	2,449	312	+ 14.6 %	
特別損益	▲1	▲323	▲322	—	
四半期純利益	1,452	1,405	▲46	- 3.2 %	

(単位：百万円)

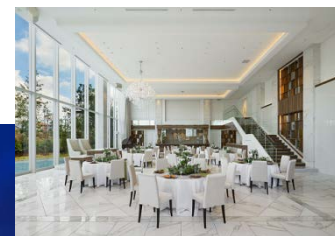
	受注高		完成工事高		次期繰越高		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
建築工事	商業施設	27,820	59.0%	26,358	66.4%	25,503	43.3%
	物販店舗	19,208	40.7%	21,391	53.9%	14,971	25.4%
	宿泊施設	8,087	17.2%	4,899	12.4%	10,074	17.1%
	娯楽施設	524	1.1%	67	0.2%	457	0.8%
	住宅	11,706	24.8%	7,623	19.2%	22,047	37.4%
	その他	7,390	15.7%	5,547	14.0%	11,093	18.8%
	計	46,917	99.5%	39,528	99.6%	58,644	99.6%
	土木工事計	220	0.5%	140	0.4%	259	0.4%
	合計	47,137	100.0%	39,668	100.0%	51,435	100.0%

# ○ 主な完成工事、主な受注工事

## ■ 主な完成工事

発注者	工事名	場所
アパホーム株式会社	(仮称) アパホテル浅草田原町駅前新築工事	東京都
三菱UFJ信託銀行株式会社	ノースポート・モールリニューアル	神奈川県
アイ・ケイ・ケイ株式会社	(仮称) ララシヤンス岡崎新築工事	愛知県
海南市	海南市新庁舎整備工事	和歌山県
株式会社カインズ	カインズ広島LECT店	広島県
株式会社フージャースコーポレーション	(仮称) 多摩平の森A街区健康増進複合施設建築計画	東京都

(仮称) ララシヤンス岡崎新築工事



海南市新庁舎整備工事



## ■ 主な受注工事

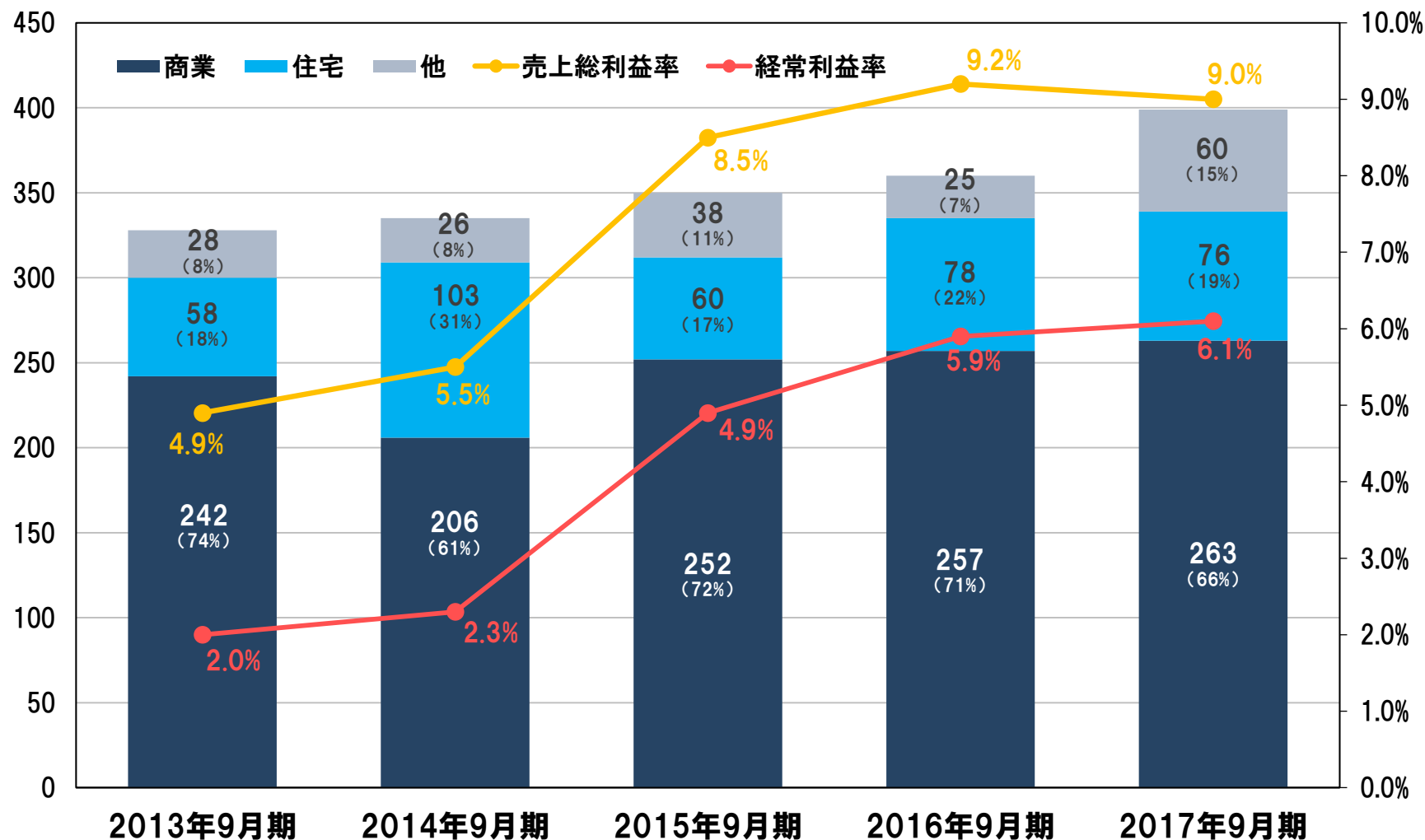
発注者	工事名	場所
アパマンション株式会社	アパホテル国会議事堂前駅前新築工事	東京都
株式会社湯山製作所	株式会社湯山製作所豊中新工場建設工事	大阪府
株式会社エフ・ジェー・ネクスト	(仮称) ガーラ三鷹新築工事	東京都
エイチ・ツー・オリテイリング株式会社	(仮称) 大淀新オフィスビル計画	大阪府
アパホーム株式会社	アパホテル浅草駅前新築工事	東京都
株式会社ビックライズ・ホールディングス	戸塚区戸塚町複合商業施設計画新築工事	神奈川県
ロイヤルホームセンター株式会社	ロイヤルホームセンター足立新築工事	東京都



アパホテル浅草田原町駅前新築工事

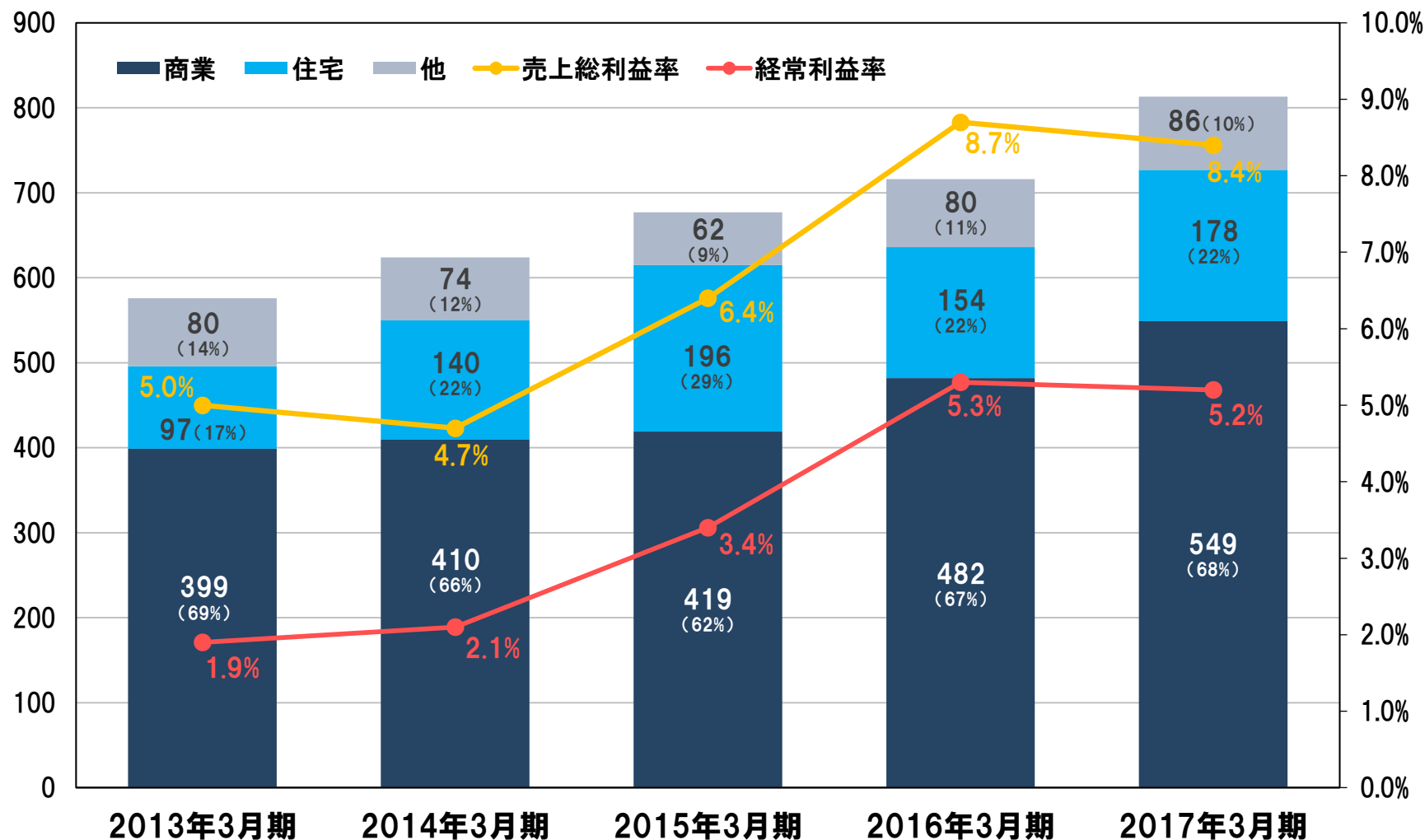
# 売上推移 過去5期分（業種別）四半期累計

（単位：億円）



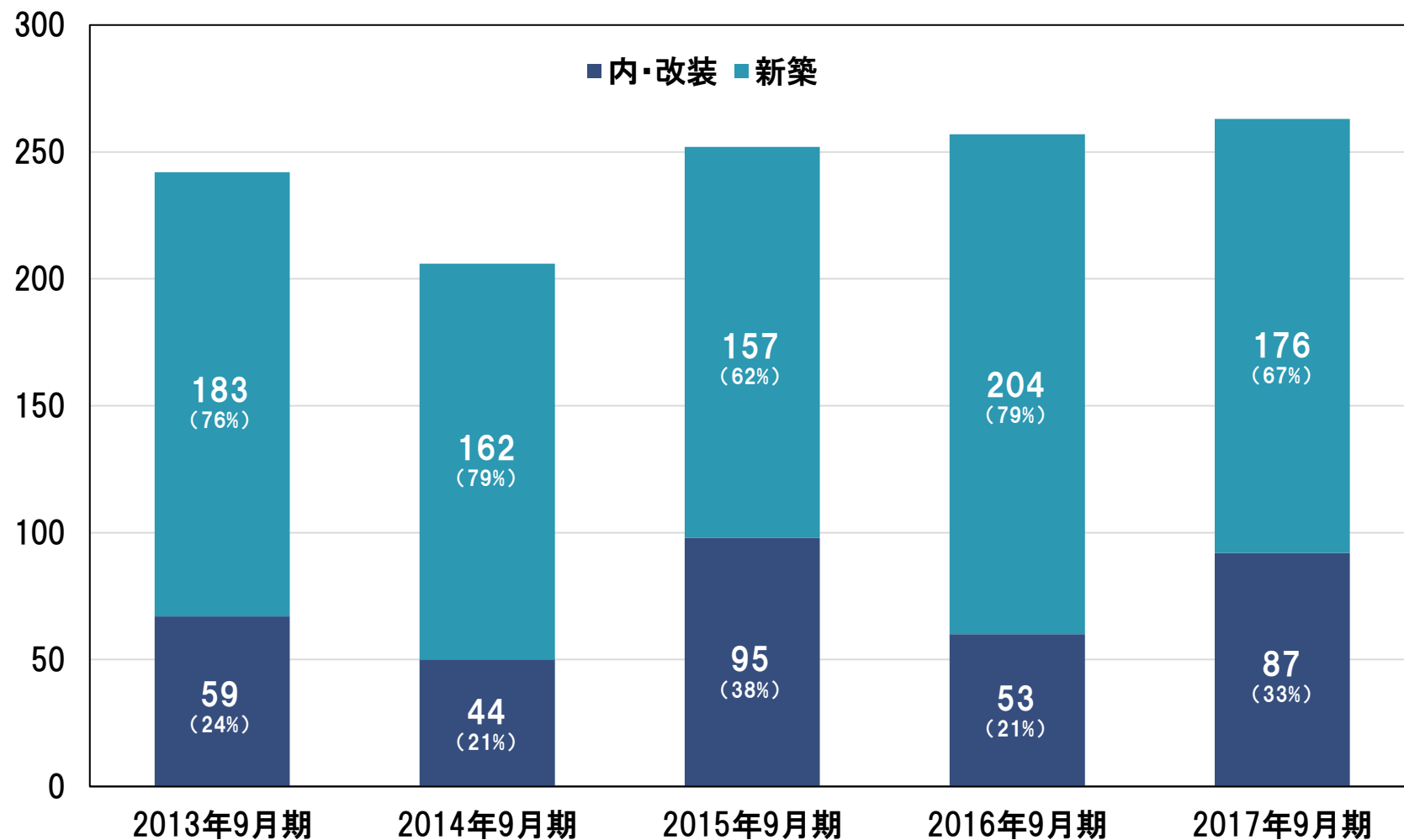
# 売上推移 過去5期分（業種別）通期参考

（単位：億円）



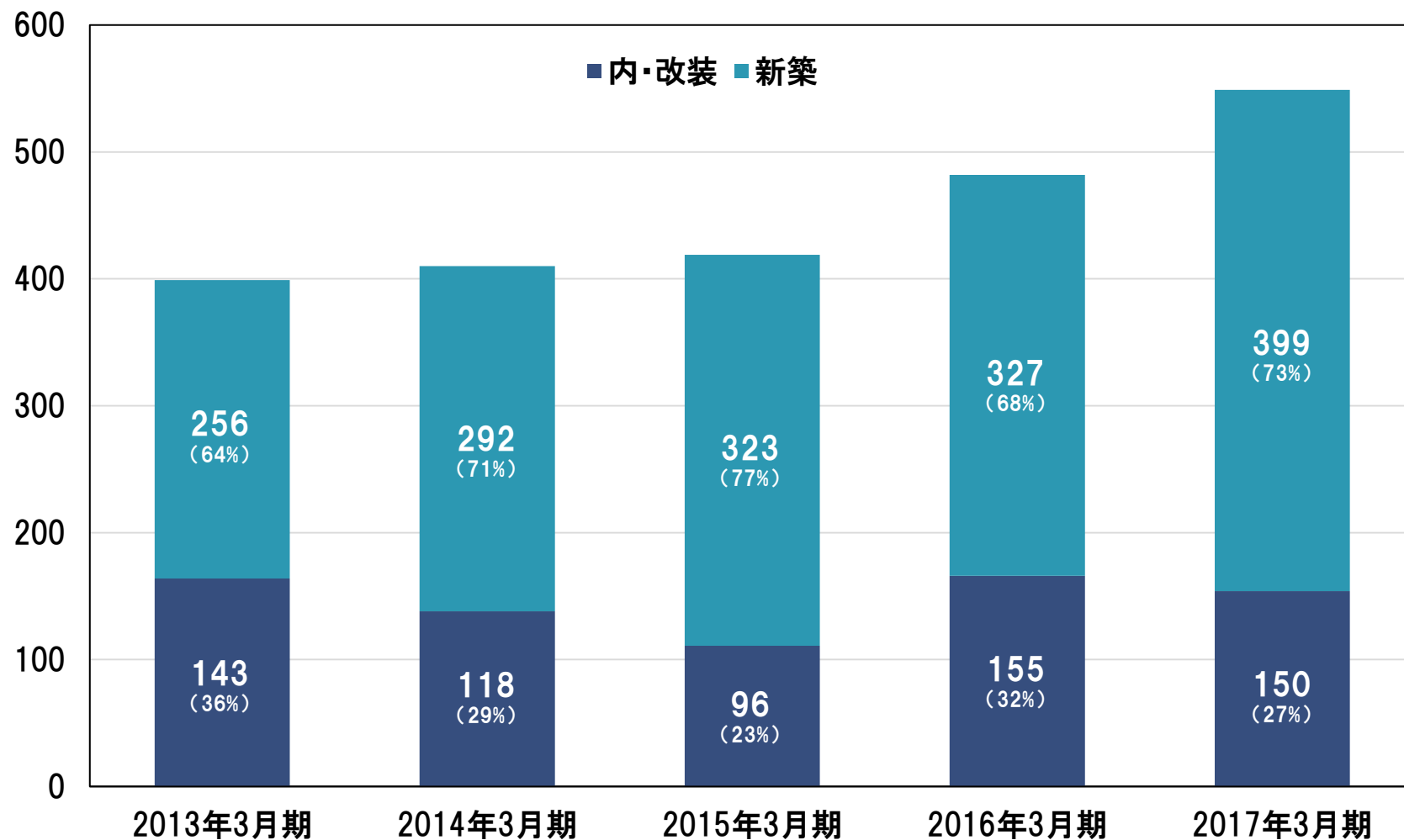
# 売上推移 過去5期分（商業施設／新築、内・改装別）四半期累計

（単位：億円）



# 売上推移 過去5期分（商業施設／新築、内・改装別）通期参考

（単位：億円）



# 比較貸借対照表

(単位：百万円)

	2017年3月期	2017年9月期	前年増減	
<b>資産合計</b>	49,232	48,762	▲470	<b>【資産】 4億7千万円減少</b> ・現金預金 54億1千2百万円増加 ・完成工事未収入金 24億7千9百万円減少 ・受取手形 12億2千6百万円減少 ・未成工事支出金 10億6千9百万円減少
<b>流動資産</b>	44,874	44,503	▲371	
<b>固定資産</b>	4,358	4,259	▲99	
<b>負債合計</b>	35,365	33,692	▲1,673	<b>【負債】 16億7千3百万円減少</b> ・未払消費税等 8億4千6百万円増加 ・未成工事受入金 5億5千2百万円増加 ・支払手形 25億6千5百万円減少
<b>流動負債</b>	31,880	30,572	▲1,307	
<b>固定負債</b>	3,485	3,119	▲366	
<b>純資産合計</b>	13,866	15,069	1,203	<b>【純資産】 12億3百万円増加</b> ・四半期純利益 14億5百万円 ・期末配当金 3億2千6百万円
<b>自己資本</b>	13,831	15,031	1,200	
<b>新株予約権</b>	35	38	2	

# ○ 比較キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2016年 9月期	2017年 9月期	前年増減	
営業活動による キャッシュ・フロー	3,100	5,797	2,697	<b>【営業活動によるCF】</b> 57億9千7百万円増加 ・四半期純利益 +21億2千6百万円 ・売上債権の減少 +37億8百万円 ・未成工事支出金の減少 +13億9千1百万円 ・仕入債務の減少 ▲25億6千2百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲41	▲54	▲13	<b>【投資活動によるCF】</b> 5千4百万円減少 ・有形固定資産の取得 ▲2千3百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	▲339	▲329	10	<b>【財務活動によるCF】</b> 3億2千9百万円減少 ・短期借入金の純増減 +4億5千7百万円 ・長期借入金の返済 ▲4億5千7百万円 ・配当金の支払 ▲3億2千5百万円
キャッシュ・フロー計	2,719	5,412	2,703	
現金及び 現金同等物の期末残高	10,569	14,471	3,902	

# ○ 2018年3月期 業績見通し

- 前提（見通し） ※期初公表の通期業績予想からの上方修正と併せて期末配当予想の増額修正
- ・第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、営業利益、経常利益及び当期純利益はそれぞれ期初予想を上回る見込み
  - ・通期業績予想が期初予想を上回る見込みから、期末配当予想を5円増配

（単位：百万円）

	2018年3月期予想				2017年3月期実績
	今回修正	期 初	増減額	増減率	金 額
売上高	82,000	82,000	-	-	81,495
売上総利益	-	-	-	-	6,827
販売費及び一般管理費	-	-	-	-	2,471
営業利益	4,100	3,700	400	10.8%	4,355
経常利益	4,050	3,600	450	12.5%	4,276
当期純利益	3,000	2,500	500	20.0%	3,048
1株当たり期末配当金	※ 50円	45円	5円	-	9円

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金（予想）につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の2018年3月期の1株当たり期末配当金（予想）は10円00銭となります。

# IV

# 中期経営計画

# ○ 中期経営計画の修正について

現状の『中期経営計画』は、  
2016年3月期を初年度する2020年3月期までの5ヵ年計画

## 定量面

2020年3月期に売上高  
800億円、経常利益27億  
円としていた目標を2年目で  
**前倒して達成。**



持続的な成長を維持していく  
ため2018年3月期以降の  
3ヵ年を**増収計画に上方修正**  
する。

(計画数値の詳細は別紙)

## 定性面

重点施策は継続するが、  
建設事業は採算性ととともに  
「生産性」を重視する。

### 重点施策（詳細は別紙）

- 技術提案力の強化（差別化・優位性）
- 建設事業は採算性と生産性を重視した取り組みを強化
- 不動産事業の活性化
- 新規事業への取り組み
- マネジメント力の向上  
(人材育成、コンプライアンス遵守 等)

(2017年5月時点)

## 社会・経済の動向

- 国内景気は緩やかながら拡大傾向も先行きの景気動向は不透明。
- 人手不足の影響が深刻。労務費や運送費の高騰も懸念材料。ICT(注1)や人工知能(AI)の活用等、生産性を高める取り組みがクローズアップ。
- 「働き方改革」が避けては通れない経営課題。
- 担い手確保のための取り組み加速。(待遇格差是正、社会保険の加入促進等)

## 当社を取り巻く環境

- 手持ちの受注残や足元の受注環境は良好で手堅く推移しているが、技能労働者不足から工事の許容能力とを睨み合わせ、採算重視で取り組み。
- 東京五輪前後の建設投資の一巡後に予想される反動減への対策。
- BIM(注2)を導入。設計や施工提案の強化とともに生産性の改善を企図。
- 長時間労働の是正や適切な休日確保、処遇改善等、労働環境の改善を推進。

計画的な経営体力の増強と将来対応の事業検討や投資を積極的に実施して当初に掲げた『重点施策』の実現に向けて取り組みを継続する。

(注1) ICT：情報通信技術

(注2) BIM(ビム)：「Building Information Modeling」の略称。コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築すること。

## 施策

①

### ◎ 技術提案力の強化（差別化・優位性）

- 技術集団として、社会から信頼される品質・安全の提供や環境に配慮し、多様化するニーズに対して差別化、優位性を提案できる営業力を強化する。
- 今後利用の増加が見込まれるBIMの導入を実施。また省エネ設計による建築企画の提案や作業所のCO<sub>2</sub>の削減等の取り組みを推進する。

## 施策

②

### ◎ 建設事業は採算性と生産性を重視した取り組みを強化

- 建物用途別の売上構成は商業施設7割、マンション他で3割を基本とする。また潜在需要の見込める内装・改造・リニューアル工事への取り組みも推進する。
- 耐震建築や建物のライフサイクルコスト等、社会からのニーズへの対応力の向上や環境マネジメントシステムの導入を機として地球環境に配慮した事業活動を推進する。

## 施策

③

### ◎ 不動産事業の活性化

- 保有資産の立地や用途等の資産構成の見直しを実施。建設事業の収益を補完するための不動産開発投資による事業計画の検討も継続的に進める。

## 施策

④

### ◎ 新規事業への取り組み ～新たな成長基盤を構築～

- 持続的な発展のため、将来の成長基盤となる事業分野を多面的に検討する。当面は建築工事の周辺分野を軸に、M&A等を活用した取り組みを検討する。

## 施策

⑤

### ◎ マネジメント力の向上（人材育成、コンプライアンス遵守等）

- 人材育成のための各種研修やマネジメントツールを導入し管理レベルを向上（環境ISO14000、COHSMS<sup>(注)</sup>他）
- 「働き方改革」を推進する。（長時間労働の是正、適切な休日の取得等）
- ICT（情報通信技術）導入推進の一環として、会計・原価管理の基幹システムを全面更新。
- 災害時の対応を体系的に整備し、国交省から「建設会社における災害時の事業継続力認定」の交付を受けた。
- 複雑化する経済社会の中での事業活動による予測しがたい事象に対して、的確に判断できる現場力を磨いていく。

（注）建設業労働安全衛生マネジメントシステムの略称

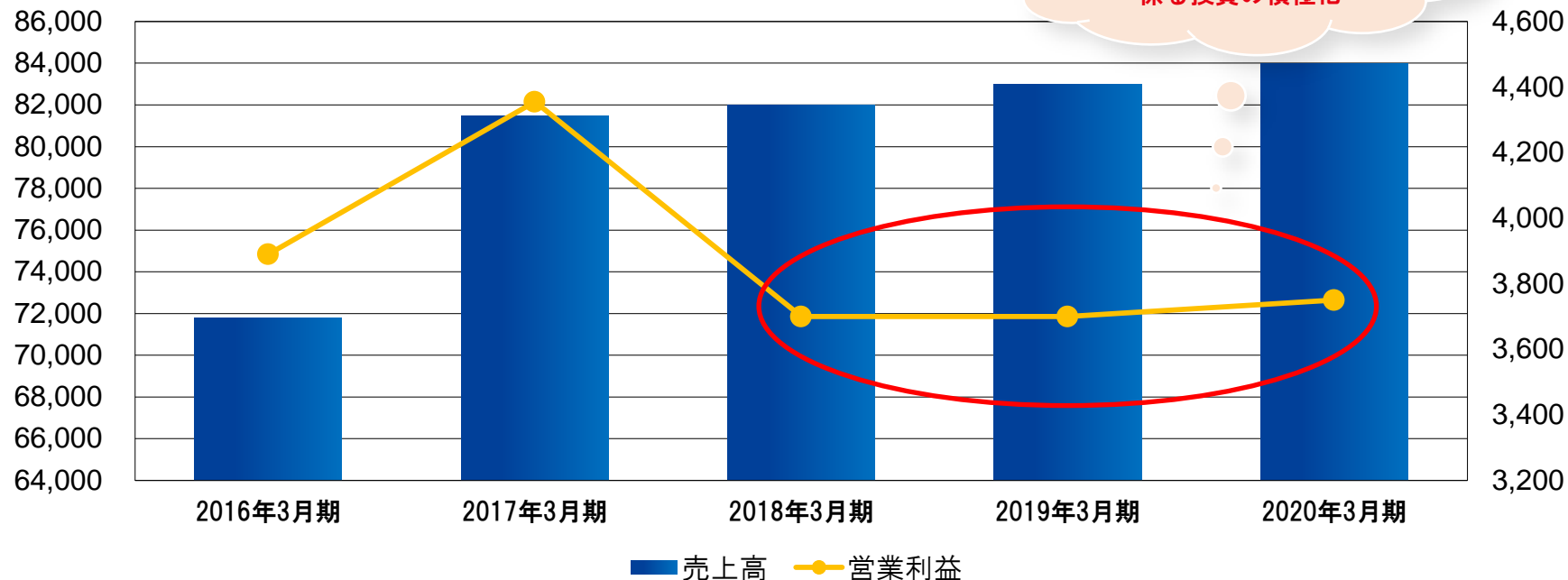
# 重点施策の進捗（主な内容）

	2016年3月期	2017年3月期	18年～20年3月期（キーワード）	継続課題
施策①	BIM導入準備	担当別教育実施 技術系講習会 商品開発試作	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術への投資</li> <li>● 環境保全への取り組み</li> <li>● i-Construction対応</li> </ul>	<h2>人材育成</h2> <p>採用、人材育成、人事制度、WLB、人材の多様化、人員構成、労務リスク 等</p> <h2>企業風土働き方改革</h2> <p>働きやすい職場環境、若年層定着、CSR、企業ブランド・イメージ 等</p> <h2>ICT（情報通信技術）</h2> <p>情報系システム、生産性の改善、セキュリティー対策 等</p>
施策②	売上純利益率8%台に増加	最終年の売上・利益目標を前倒し達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営目標修正</li> <li>● 生産性の向上</li> </ul>	
施策③	低採算物件の処理（減損、売却）	収益物件取得の取り組み 保有商業施設活性化着手	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様なアプローチ（PJファイナンス、SPC等）</li> <li>● 収益物件の保有</li> </ul>	
施策④	情報収集／事例研究	海外視察 M&A（デュアリ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規事業の継続検討</li> <li>● 具体的案件への投資</li> </ul>	
施策⑤	教育研修（営業・技術・コンプライアンス 他）	BCP認定取得 環境ISO全支店導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次世代を担う人材育成</li> <li>● マネジメントシステムの定着</li> <li>● 連結決算対応</li> </ul>	
	ICT導入推進（建設クラウド稼働、WF決裁 他）			

## 中計修正数値目標

BIMなど経営体力増強や  
将来対応への事業検討に  
係る投資の積極化

(単位：百万円)



**売上高 800 億円の定着、売上高総利益率 8% の安定確保**

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	71,778	81,495	82,000	83,000	84,000
営業利益	3,890	4,355	3,700	3,700	3,750
経常利益	3,788	4,276	3,600	3,600	3,650

## BIM (Building Information Modeling)

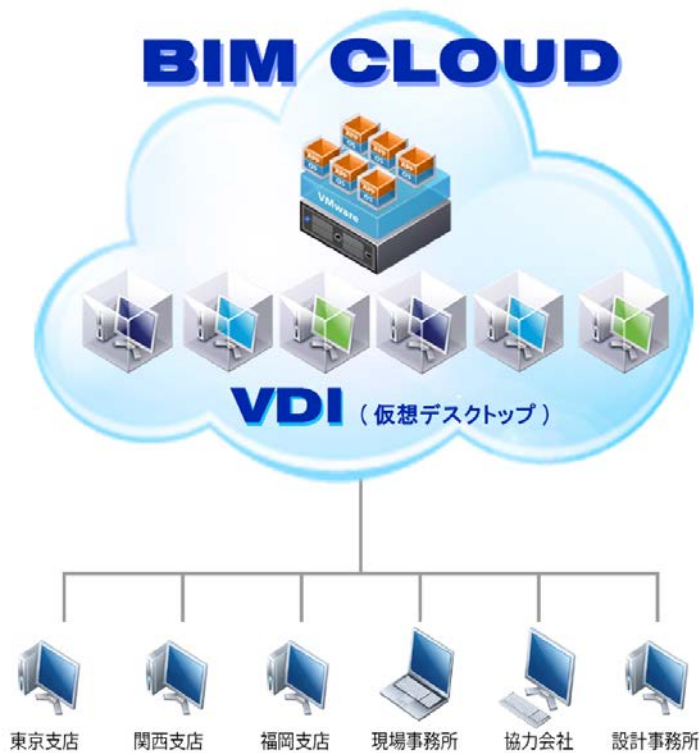
コンピューター上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築すること



BIM統合モデル



断面図



2017年3月期

・ BIM導入開始

2018年3月期

・ 東京駐在設計  
BIM化

2019年3月期

・ 全国設計BIM化  
・ 全国施工BIM化

将来的には協力会社や設計事務所とも  
クラウドでデータを共有へ

## VDI (Virtual Desktop Infrastructure)

仮想環境のためのハードウェアとソフトウェアを含むデスクトップ仮想化のためのサーバーシステム

## 経営理念

品質の向上と安全の徹底に努め、  
いかなるときもクリエイティビティを発揮し、  
商業空間事業を通じ、  
快適で豊かな社会の実現をめざします。



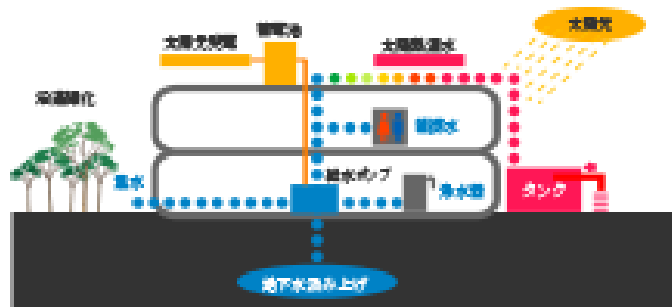
## 経営ビジョン

より豊かで快適な『暮らし空間』を創造する事で  
広く社会へ貢献する企業

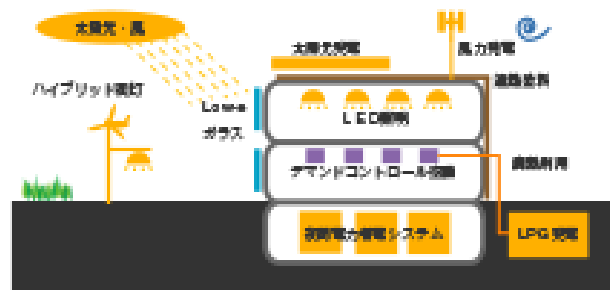
# ○ 未来のために

社会や顧客が商業施設に求めるものが変化

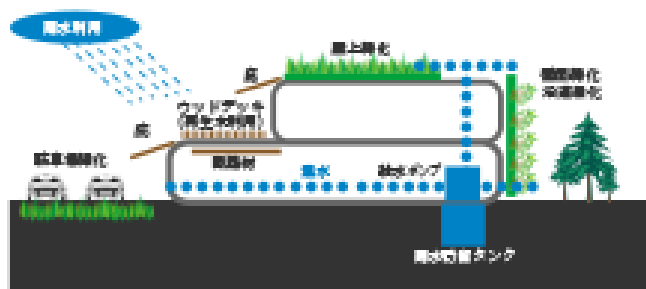
「災害時の避難場所」「環境への配慮」「ランニングコストの削減」「耐震・免震対応」  
地球環境や地域貢献、防災対策、などこれら社会ニーズに応える技術向上を目指す。



災害時の地域貢献



ランニングコスト削減計画



環境にやさしい建物



## 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社イチケン  
財務経理部 湯浅・高垣

**TEL 03(5931)5642**

- 本資料は、株式会社イチケン(以下、当社)をご理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資活動勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。